

2023年9月7日

アルプスアルパイン株式会社

観光客の道路状況把握に役立てるため、車両の撮影映像の分析・活用を開始

アルプスアルパイン株式会社では、株式会社NTTデータ、株式会社ゼンリンと協業し、9月8日より当社のドライブレコーダーを搭載したレンタカー車両が、通常走行の中で撮影しているドライブレコーダーの車外映像を、特定の個人を識別しないように加工し、レンタカーを利用する観光客へ提供する実証実験を開始します。

これにより渋滞の状況や発生原因、目的地周辺の混雑状況の把握を促すことで、混雑しているエリアを回避して移動するといった利用者の行動変容につなげ、効率的に観光地を回れることでの観光客の満足度の向上、地域住民にも影響ある交通渋滞の緩和等にご貢献していきます。

この実証実験では、渋滞の状況や発生原因、目的地周辺の混雑状況を把握するため、映像データを利用しておりますが、通行している市民の皆様を特定しているものではありません。また、ドライブレコーダーは、通行している市民の皆様の顔や車両のナンバープレートが判別できない程度の解像度で運用しており、さらに画像中で人物の顔やナンバープレートと判断される箇所をマスキング処理する加工を施し、観光客への提供前に個人の特定につながらないよう配慮しています。

- ・データ取得エリア（主要な走行範囲）：沖縄県内（本土）
- ・データ取得用カメラを搭載した車両の台数：500台
- ・データ取得期間：2023/9/8～2023/12/31
- ・撮影データ保存期間：実証実験後6か月で削除

本件に関するお問合せ [こちらをクリック](#)

当社は個人情報の保護に関する法律、同法の政令や規則及び同法のガイドラインなどの遵守のための基本方針を策定し、データの取得、利用、保存等を行う場合の基本的な取扱方法を整備しています。整備した取扱方法に従ってデータが取り扱われていることを責任者が確認しています。カメラ等データを取り扱う機器や電子媒体の盗難等を防止するための措置を講じるとともに、不正なアクセス又は不正なソフトウェアから保護する仕組みを導入しています。